

平成 20 年 1 月 15 日

平成 20 年 8 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

上場会社名 株式会社雑貨屋ブルドッグ

上場取引所 J Q

コード番号 3 3 3 1

URL <http://www.z-bulldog.com/>

代 表 者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小楠 昭彦

問合せ先責任者 (役職名) 取 締 役 (氏名) 岩藤 洋一

T E L (053) 585 - 9001

(百万円未満切捨て)

1 . 平成 20 年 8 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 11 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(% 表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 8 月期第 1 四半期	5,111	(16.3)	1	(98.7)	76	(****)	119	(****)
19 年 8 月期第 1 四半期	6,106	(7.2)	151	(47.8)	193	(63.2)	103	(71.7)
(参考) 19 年 8 月期	27,666		1,708		1,765		829	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
20 年 8 月期第 1 四半期	11 66	-
19 年 8 月期第 1 四半期	10 82	-
(参考) 19 年 8 月期	82 21	-

(注) 平成 18 年 11 月 14 日に実施した公募による新株式の発行により、800,000 株、また、平成 18 年 12 月 12 日をもって実施した第三者割当による新株式の発行により、5,900 株、発行済株式総数がそれぞれ増加しております。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 た り 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 8 月期第 1 四半期	23,840	13,601	57.0	1,325 82
19 年 8 月期第 1 四半期	23,858	13,091	54.9	1,276 92
(参考) 19 年 8 月期	24,052	13,848	57.6	1,349 98

2 . 配当の状況

	1 株 当 た り 配 当 金	
	第 1 四 半 期 末	
(基 準 日)	円	銭
19 年 8 月期第 1 四半期	-	-
20 年 8 月期第 1 四半期	-	-

3. 平成20年8月期の連結業績予想(平成19年9月1日~平成20年8月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株あたり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	14,759	1.2	1,432	8.9	1,413	1.0	546	28.0	53	22
通期	28,668	3.6	2,332	36.5	2,300	30.3	954	14.9	92	99

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- (3) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表】4.その他をご覧ください。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、本資料の3ページをご参照ください。

【定性的情報・財務諸表】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加や、雇用環境の改善等により、緩やかながら景気回復が継続しておりますが、一方で、サブプライムローン問題による米国金融不安を発端にした株価下落や、原油価格の高騰といった先行きに対する懸念材料もあります。景気に対する先行きの不透明感により、小売業界におきましても依然厳しい環境にあります。

このような環境下、当社グループは既存店売上の回復をすべく、抜本的な改革を行ってまいりました。しかしながら当第1四半期中において、当社の目標とする「品揃え・商品量・売場構成」に全店が未だ達しておらず、既存店の売上は苦戦いたしました。引き続き当社の目標とする「品揃え・商品量・売場構成」に全店を早期にレベルアップさせることにより既存店の売上回復を計って行く事を最重要課題として全社を挙げて取り組んでまいります。また、改革は商品面にとどまらず、個店の将来における収益性を精査し、店舗のリストラも進めてまいります。

利益面では、ブルドッグ本来のコンセプトにあった商品仕入れに厳選した結果、値入が改善し売上総利益率の改善(前年同期に対し1%改善)に繋がりました。また、販売管理費(賃料、人件費、広告宣伝費等)の改革を更に進めた結果、前年同期に対し小売部門で327百万円の削減となりました。(前年第1四半期末店舗数304店舗に対し、当第1四半期末店舗数330店舗)

以上のような結果、当第1四半期までの連結売上高は5,111百万円となり、連結営業利益は1百万円となりました。経常利益につきましては、前期末から引き続く円高等の影響により、デリバティブ契約による期中為替変動での評価損を含む為替差損を81百万円計上いたしました結果、76百万円となり、四半期純利益につきましては119百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

前期末と比較して、棚卸資産は1,202百万円増加し、固定資産は減価償却等により310百万円減少いたしました。支払手形および買掛金は1,061百万円増加し、借入金は返済により699百万円減少いたしました。これらにより総資産は前期末と比較して212百万円減少し、23,840百万円となりました。純資産は前期末と比較して247百万円減少し13,601百万円となりました。主因は剰余金の配当128百万円であります。

なお、当第1四半期においては、連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報等

当第1四半期終了時点における平成20年8月期の中間期および通期の業績予想につきましては、平成19年10月12日発表した業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算などについては、一部簡便的な方法を採用しております。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

(3) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年8月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年8月期 第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年8月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	2,767	3,552	784	28.4	4,640
受取手形及び売掛金	130	134	4	3.3	101
たな卸資産	11,266	10,623	643	5.7	9,420
その他の流動資産	610	594	15	2.5	642
流動資産合計	14,774	14,904	130	0.9	14,804
固定資産					
有形固定資産	5,997	5,811	185	3.1	6,003
無形固定資産	129	113	16	12.5	122
投資その他の資産	2,951	3,003	51	1.8	3,112
固定資産合計	9,078	8,928	149	1.7	9,238
繰延資産	6	8	1	23.6	9
資産合計	23,858	23,840	17	0.1	24,052
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	2,818	2,149	668	23.7	1,088
短期借入金	3,785	2,954	830	22.0	3,089
未払法人税等	125	62	63	50.6	286
その他の流動負債	978	670	308	31.5	776
流動負債合計	7,708	5,836	1,871	24.3	5,241
固定負債					
長期借入金	2,892	4,203	1,310	45.3	4,767
その他の固定負債	166	200	33	20.2	193
固定負債合計	3,058	4,403	1,344	44.0	4,961
負債合計	10,766	10,239	526	4.9	10,203
(純資産の部)					
株主資本					
株主資本合計	13,089	13,601	512	3.9	13,849
評価・換算差額等					
評価・換算差額等合 計	2	0	2	-	0
純資産合計	13,091	13,601	509	3.9	13,848
負債純資産合計	23,858	23,840	17	0.1	24,052

(2)(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年8月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年8月期 第1四半期)	増 減		(参考)前期 (平成19年8月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
売上高	6,106	5,111	994	16.3	27,666
売上原価	2,957	2,426	530	17.9	13,568
売上総利益	3,149	2,685	464	14.7	14,098
販売費及び一般管 理費	2,997	2,683	314	10.5	12,390
営業利益	151	1	149	98.7	1,708
営業外収益	69	19	50	72.2	200
営業外費用	28	97	69	245.3	143
経常利益(損失)	193	76	269	-	1,765
特別利益	-	-	-	-	0
特別損失	-	5	5	-	74
税金等調整前四半期 (当期)純利益(損 失)	193	81	274	-	1,691
税金費用	89	37	51	57.4	861
四半期(当期)純利益 (損失)	103	119	223	-	829

(注) 前第1四半期は年間予測税率として前々連結会計年度の税負担率をベースとして算出したしております。当第1四半期は年間予測税率として前連結会計年度の税負担率をベースとして算出したしております。

(参考1)(要約)四半期個別貸借対照表

(単位:百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年8月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年8月期 第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年8月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	2,209	3,076	867	39.3	4,054
売掛金	57	52	5	9.0	50
たな卸資産	11,115	10,526	589	5.3	9,398
その他の流動資産	517	500	17	3.3	502
流動資産合計	13,899	14,155	255	1.8	14,005
固定資産					
有形固定資産	5,100	4,929	170	3.4	5,110
無形固定資産	96	87	8	9.1	96
投資その他の資産	2,827	2,945	117	4.2	2,973
固定資産合計	8,023	7,961	61	0.8	8,179
繰延資産	6	8	1	23.6	9
資産合計	21,930	22,125	195	0.9	22,194
(負債の部)					
流動負債					
支払手形	317	205	112	35.5	140
買掛金	2,469	1,891	577	23.4	875
短期借入金	3,594	2,828	766	21.3	2,931
未払法人税等	16	0	16	99.9	187
その他の流動負債	923	611	311	33.8	748
流動負債合計	7,322	5,536	1,785	24.4	4,883
固定負債					
長期借入金	2,391	3,853	1,462	61.2	4,392
その他の固定負債	131	162	30	23.5	153
固定負債合計	2,522	4,015	1,493	59.2	4,546
負債合計	9,844	9,552	292	3.0	9,430
(純資産の部)					
株主資本					
株主資本合計	12,084	12,572	487	4.0	12,764
評価・換算差額等					
評価・換算差額等合 計	0	0	0	63.6	0
純資産合計	12,085	12,572	487	4.0	12,764
負債純資産合計	21,930	22,125	195	0.9	22,194

(参考2)(要約)四半期個別損益計算書

(単位:百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年8月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年8月期 第1四半期)	増 減		(参考)前期 (平成19年8月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
売上高	5,905	4,974	930	15.8	27,031
売上原価	2,985	2,479	505	16.9	13,574
売上総利益	2,919	2,494	424	14.6	13,456
販売費及び一般 管理費	2,860	2,532	327	11.5	11,870
営業利益(損失)	59	37	97	-	1,586
営業外収益	17	20	3	17.7	64
営業外費用	24	39	15	65.2	125
経常利益(損失)	52	57	109	-	1,524
特別利益	-	-	-	-	0
特別損失	-	5	5	-	74
税引前四半期 (当期)純利益(損 失)	52	62	115	-	1,451
税金費用	16	0	16	97.6	750
四半期(当期)純 利益(損失)	35	63	98	-	700